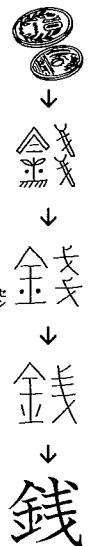


錢

五年
オノ
カツ
ゼニ
14
画数
筆順
金 錢 錢 錢

成り立ち



“わずか”という意味の「戋」(残4年57)と、お金の意味の「金」と組み合わせて作った字です。

「わずかなお金」という意味を表した字で、「円」というお金の単位の百分の一という、「わずかなお金の単位」を表したものです。

「わずかなお金」という意味や、単に「お金」という意味に使われています。

お金のことを「ゼニ」と言いますが、これは「ゼン」のなまつたもので、ほんとうの訓ではありません。

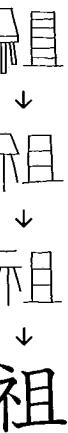
△「一銭を笑う者は一銭に泣く」という諺があります。
△縁日で錢がめを買ってもらいました。かわいいかめです。錢の大きさしかないので、錢がめと言うのだそうです。

△「一銭を笑う者は一銭に泣く」という諺があります。

祖

五年
画数
筆順
ソ
ノ
オ
ン
フ
ン
五
初祖

成り立ち



「神さま」の意味に使われる「祖」(示5年732)と、物が「つみ重なる」形を表した「且」(組2年181)とを組み合わせて作った字です。

家の祭壇(神だな)に神として祭られている、初代、

二代、三代と、何代にもわたる「先祖」のことを表した字です。「先祖」とも「祖先」とも言います。

「父母の父母」のことを「祖父母」というようにも使います。

また、物事を創始した人のことを「開祖」というように使います。

熟語例

△「お彼岸には、いなかのお墓まいりに行き、先祖のお墓に花や線香をお供えします。

△「ぼくの家は、祖父の代まで、いなかにあって、父の代から東京に住むようになったのだそうです。

△「わたしの父方の祖母は七十歳ですが、母方の祖母は六十五歳です。どちらも元気です。

△「先祖(昔は、死んだ人はすべて神として家の祭壇に祭られました。これらの人々のことを「祖」と言い、「祖先」とも「祖先」とも言います。)

△「祖父(「父の父」および「母の父」のことを言います。ふつう「おじいさん」とよびます。)

△「祖母(「父の母」および「母の母」のことを言います。ふつう「おばあさん」とよびます。)

△「曾祖父(「曾祖父母の父」のこと。ひいじいさん)

△「高祖父(「曾祖父母の父」のこと。創始者のこと。)

△「開祖(ある事を初めて開いた人のこと。創始者のこと。)

△「祖国(先祖代々住んでいる国のこと。)